



廃棄処分の資材を用水ゲートなどに有効活用

おとかね

しもごうまち

音金農地・水環境保全組合（福島県下郷町）

- 本地区内の水路は、造成後約30年が経過しており、老朽化が進行中。多面的機能支払交付金により水路の補修等を行うに当たり、廃材を活用することで経費を大幅に節減。
- 例えば、活動組織が管理している分水路は、古い木板等で造られた角落とし構造であり、分水路の操作に手間取ることもあった。このため、ハンドルで操作可能な鋼製ゲートの製作・据付を行ったが、廃棄予定の葉たばこ梱包機の部品を有効活用することにより、改修費用を大幅に節減。
- また、雨水時に溢水していた水路の補修等において、国道の改修工事の後に払い下げを受けたコンクリート二次製品を活用。

【地区概要】

- ・取組面積 79 ha
(田 74 ha、畑 5 ha)
- ・資源量
開水路23.0 km、農道13.0 km
- ・主な構成員
農業者、自治会、老人会、消防団、土地改良区 等
- ・交付金 約4百万円(H29)
〔 農地維持支払
資源向上支払(共同) 〕

維持管理の課題



上流分水路

分水路は、老朽化した木板や角材利用の角落構造であり、操作等に不測の時間を要す



葉たばこ梱包機

廃棄予定の梱包機のスピンドル、ハンドルを活用



急流の水路

水路は、急流であり大雨の度に溢水が発生。このため、土のうを積んで応急的に対処。



コンクリート二次製品水路

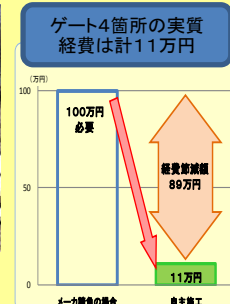
払い下げを受けたコンクリート二次製品水路を活用

経費削減のための 創意工夫



施工中

溶接工、土建業、佐官等経験した農業者である構成員が中心となり1箇所およそ2日間で完成
(全4箇所を短期間で実施)



スピンドル ハンドル



施工中



水路改修を実施
(地域住民は、高度な技術を習得)

改修後の状況



完成後の通水状況

ゲートの設置により、操作性が格段に向上



完成後に操作を確認



完成後の通水状況

溢水の心配が無くなった水路